2012年（平成24年）8月 9日（木曜日） 夕刊 矢祭
（NO，11123） 先負（旧 6月22日）
東舘字桃木町42 夕刊矢祭新聞社 昭和57年12月6日第3種郵便物認可
発行人 菊池正典 ☎46-3508 日刊（日曜、祭日、第二・四土曜休刊） 月額 1,000円

入札問題、子どもセンター敷地問題の第2回特別委員会を開催

監査委員選任案を否決

臨時町議会 議会、識者選出の二件

二件とも反対多数により否決（不同意）された。

菊池宣言、池田清理事、古張文雄議長の説明により、監査委員選任案の審議を提案した。

監査委員選任案は、三月三十日の任期満了に伴う監査委員の選任案を提出した。

議会は、九時から臨時町議会を開催した。

川氏退席のもと審議した。

びさの両氏提案しました。

緑町議会は、六月四日、今回再提案した。

意見を求めました。

字押舘一三三、片野同（六七）を提案した。

任期満了に伴う監査委員の選任案は、

勝夫氏が識者（六六）を提案した。

緑川氏は、学識者（六六）を提案した。

下石井仲一、

進氏字仲一、

川氏は、宝白石提一、

後任の坂豊氏が選出の任期満了に伴う監査委員の選任案は、

つき、十九日の任期満了に伴う監査委員の選任案は、

三月三十日の任期満了に伴う監査委員の選任案は、

食の安全と放射能を聞く
商工会女性部 広域（県南地区）講演会

県教育委員　境野米子氏迎え

県南地区商工会女性部連絡協議会は、去十日、矢祭町商工会館で講演会を開いた。

講師に境野米子氏を迎え、「食の安全と放射能について」と題して講演した。

境野氏は、群馬県出身で、九年前に橋本市に在住し、研究所に勤務した。

農薬や放射能の専門家・斎藤清一氏の作品を都内の大学の研究室に飾って下さいと寄贈した。

講演は、放射能の基礎知識、放射能の人体への影響、食品添加物の安全性、洗剤の選び方、酢の使い方、除草剤の方法、食料の煮方、調理方法、食品の保存方法、食品の洗い方、食品の保存方法、食品の洗い方、食品の保存方法、食品の洗い方

ユーパル矢祭「イベントホール」火災についての「公開質問状」と質問への回答

公開質問状
矢祭町長　古張允様

私は、矢祭振興公社の理事の一人として、振興公社並びに町当局に伺いたいと思います。

去る六月二十七日開催の、理事、評議員会の席上、六月八日未明に発生したユーパルのイベントホールの火災について説明を受けましたが、納得しがたい事件だと感じました。

イベントホールは、建設後、まだ五～六年しか経っていない新しい施設です。近年造られている公共施設には完璧な漏電対策が施されているはずです。

町の貴重な財産を失った事は大きな損失であり、関係者の責任は重いものがあります。理事会での火災についての説明では宿泊棟の火災報知器が最初に鳴って、配電盤に直結しているキューピクルの警報機が十八分も遅れて発報しているという説明でした。

火災の原因が漏電ならば最初にキューピクルの警報機が鳴りその後建物内に煙が充満してから宿泊棟へ煙が流れて宿泊棟の火災報知器が鳴るのが順序じゃないでしょうか？

私達は理事会後現場を見せてもらい、原因は配電盤の漏電以外にあるのではないかと思いました。そして理事会での説明では火災発生の二～三日前に電気保安協会が漏電検査をして異常が無かったと報告がありました。

関係者に聞くと現在警察が原因究明をしているそうですが、いずれにしても町の財産を失った事には間違いなく、理事長、支配人、防火管理者等関係者にはこの事態を重く受け止めていただき、二度とこのような事が発生しない様に日常の点検管理をお願いしたいと思います。

火災原因は警察の調査を待たなければならないが、原因不明等で片付けられては町民は納得出来ないでしょう。

私は振興公社の理事の一人として町当局並びに関係者から、町民誰もが理解出来る様な回答を頂きたいと思います。

矢祭振興公社理事
石井一男

（財）矢祭振興公社
理事　石井一男様

◎公開質問状について、お答え致します。

始めに、町の貴重な財産であります「イベントホール」を、原因はどうあれ焼失したことに対し、町民の皆様に対し深くお詫び申し上げます。

今回の矢祭振興公社が管理運営しております「イベントホール」内の火災は六月八日未明にイベントホール内の収納室内付近から発生しましたが、施設入口は施錠されており、また収納室内には火の気もなく、この火災原因等につきましては、先般開催しました役員会の席上でも御説明した通りで、現在警察の鑑識課等で、原因について調査中であります。

従いまして、現段階で私共が勝手な判断や憶測は避けなければならないと思っております。あくまでも憶測でありますが。火災現場を見て頂いてお解かりの通り、「イベントホール」と「ユーパル矢祭」の宿泊棟は連絡通路（二F）で繋がっておりますが、常に非常用の防火扉で仕切られており、一般のお客様には繋がっていることは分からないのではないかと思います。（防火扉は施錠されておりません）また「イベントホール」内には、消防法上火災報知器等の設置義務はない事から設置しておりませんでした。

火災発生の確知は、午前三時〇〇分に二階宿泊等通路に設置して御座います火災警報器（煙探知器）が感知致しまして、火災警報器が鳴り、その後三時十八分に施設配電用の「キューピクル」が、電線短絡による漏電警報通知が東北電気保安協会に異常発報されている状況であります。

この火災発生原因に対する詳細は未だに分かりませんが、石井理事の言われる通り、分電盤内の漏電が原因で有るとすればブレーカーが作動して、自火報装置（煙探知器）より先に、漏電警報が東北電気保安協会に通報されるシステムになっている事から、発報が有って良いのではないかと推測されます。

また、これも推測ですが、原因が何処にあるかは解かりませんが、このような仕組みになっている状態、更には火災発生個所から感知した火災報知器の設置場所までは距離が有ること等を考えると、時間的に見ても火災発生が先で、その後に分電盤が燃えたのではないかと思われます。

私共、専門的知識を持たない者の推測では、石井理事へのお答えにはなり得ませんが、電気系統を施工されました専門業者からの検証報告は以下の通りでありますので参考にして頂きたいと思います。

【ユーパル矢祭イベントホール火災に関する報告】検証結果

①分電盤付近の燃え方が激しかった事や、付近のコンセントからの出火の可能性について

分電盤の前面床部分が激しく燃えた痕跡があり、そこにはバージンロードに使用しているカーペットが有った様で（後日確認後カーペットは別の場所に保管）、その付近にコンセントがあり、そこからの出火を疑いましたが、コンセントは部屋外側（出火場所とは反対）向きに設置してあったことが判明し、かつそこには前日何も接続していなかった様なので、そこからの出火は確認出来なかった。

②分電内部からの出火の可能性について

分電盤の状態を調査したところ、分電盤中央から上部にかけて激しく燃えていた。ブレーカーやケーブルが分電盤前面（表面）からの熱によって溶けていた状態だと判断出来ました。分電盤内部からの出火ですと、内部全体的に燃える事が想定出来ましたので、分電盤内部からの出火は確認出来ませんでした。

③非常照明回路からの出火の可能性について

非常照明回路は、コンセント回路とは相反して、常時負荷の容量は一定な回路です。竣工当時から常に一定なので、突然そこからの出火は考えられません。また、分電盤のブレーカーには、わずかに燃えていない電線が繋がったままでしたので、非常照明回路からの出火は確認出来ませんでした。

④火災報知器や受変電設備の警報について

火災当日の午前三時火災報知器発報、午前三時十八分キューピクル異常発報したと伺いました。イベントホールには火災報知器が無く、イベントホールと連結された渡り廊下の感知器が発報したのを考慮すると、感知器が発報するまでには相当な時間が掛かると思われます。

仮に分電盤が原因であれば、ブレーカーがトリップし出火には至らないか、キューピクルの漏電警報器が発報するので、此れほどの火事には至りません。

火災報知器が発報した後にキューピクルが発報したのを考慮すると、出火が先でその後に分電盤に引火したと考えられます。

※結びとして、上記により総じて電気系統からの出火の原因は見つかりませんでした。

また、火災発生の二日前には東北電気保安協会の漏電検査が行われ、異常を認められなかったとの報告を受けております。

今後、当振興公社における対応策と致しましては、現在フロント夜勤者と宿直者の二名で対応しておりますが、人員の関係から増員することは難しいものが御座いますが、幹部会議を開催し、フロント夜勤者は毎朝「フロント日誌」を提出しているが、宿直者においても「宿泊日誌」に午後八時から翌朝午前七時までの勤務状況を記載し、提出するよう改善を図ったところであります。

なお、関係者の責任については、原因究明の結果を待って判断したいと思います。

（財）矢祭振興公社
理事長　古張　允
（財）矢祭振興公社
支配人　永山雅英